

昭和館 だより

第19号

平成25年2月25日発行

「第11回 昭和館見学作文コンクール」の作品募集

小・中学生の皆さんを対象とした「第11回 昭和館見学作文コンクール」の作品を1月15日(火)まで募集しました。テーマは「昭和館や巡回特別企画展を見学して思ったこと、調べたことなど」で、たくさんの小・中学生のみなさんの応募をいただきました。これから審査を行い、最優秀作品には、厚生労働大臣賞が授与されます。

「第5回 昭和館高校生ポスターコンクール」の作品募集

高校生の皆さんを対象とした「第5回 昭和館高校生ポスターコンクール」の作品を1月15日(火)まで募集しました。テーマは「あなたが学んだ昭和の暮らし」「あなたが知っている昭和の暮らし」で、たくさん的高校生のみなさんの応募をいただきました。これから審査を行い、入賞作品には、賞状及び副賞を用意しております。

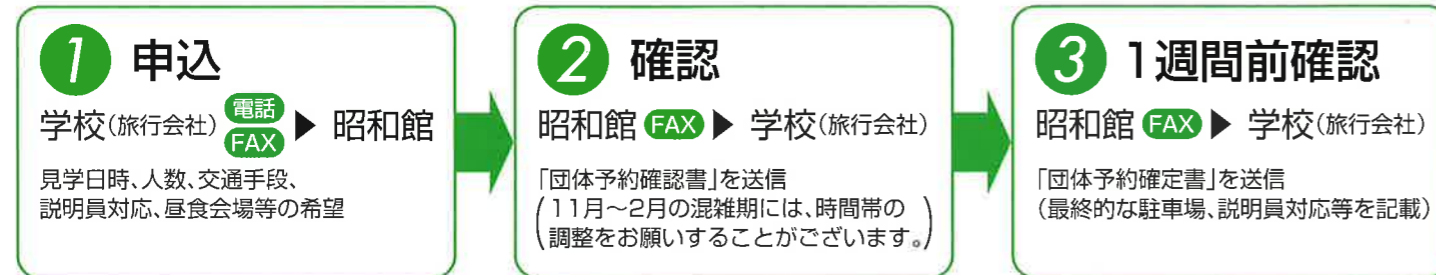
平成25年度 昭和館カレンダー

休館日：月曜日(祝日または振替休日の場合はその翌日)・年末年始

年 月	常設展示室	特別企画展	コンクール
25年 1月	リニューアル工事のため 休室 (1月5日～15日) リニューアルオープン (1月16日)		
2月			見学作文コンクール 高校生ポスター コンクール 審査
3月		「生誕100周年・没後30 周年記念 中原淳一の 生きた戦中・戦後～少女 像にこめた夢と憧れ～」 (3月16日～5月12日) 写真展「桜・さくら・サク ラ」 (3月20日～4月14日)	発表

その他 ※紙芝居定期上演会(3月24日)
梅田佳声さんら紙芝居師の方により昭和館が所蔵する懐かしい紙芝居を演じていただきます。

学校団体見学の予約手順



昭和館を見学する学校団体への対応

① 説明対応が選べます

- 事前説明
見学の前に、説明員から館内の概要説明を10分程度行います。
- 同行説明
説明員が1クラス(40名程度)に1名付き添い、常設展示室をご案内します。
(2クラスで約1時間、3クラスで約1時間30分。要予約・先着順)

② 180名収容の昼食会場

3階研修室を昼食会場として、提供します。
(昼食時間は30分以内・要予約)

③ 大型バスもOK

近隣の駐車場を確保します。(要予約・駐車料金は無料)

学校教職員下見用 (コピー可) 常設展示室 無料入場券

感想募集 本誌を読まれたご感想、当館へのご意見、実際に見学された際のご感想等を下記にお送りください。今後の本誌の編集と、館の運営の参考にさせていただきます。



〒102-0074
東京都千代田区九段南1-6-1 昭和館 総務部
TEL 03-3222-2577 FAX 03-3222-2575
info@showakan.go.jp
http://www.showakan.go.jp



お気軽に下見にご来館ください。
本券を1階受付にご提示いただければ無料で見学できます。

DVD応募券

応募券を葉書に貼り、「昭和館 総務部」までご郵送ください。DVD「ショーコちゃんの昭和館を見てみよう！」を学校にお送りいたします。

「常設展示室がリニューアルオープン」 「昭和館が戦中・戦後の人々の生活を、後世代に伝えます。」

常設展示室で昭和の
くらしを学びましょう。

さあ、みんなで見学しよう。



7・6階 常設展示室

昭和10年から30年頃までの戦中・戦後の暮らしを展示しています。

展示室では、戦争の影響がまだそれほど感じられなかった昭和10年頃の暮らしから、徐々に戦争の影響を受け始め、激しくなってくる昭和20年までの生活、そして戦後の生活を時系列で展示しています。人々の生活がどのように変わっていったのか、理解しやすい構成となっています。

7階 昭和10年頃の家

7階 統制下の暮らし

7階 戦中の学童・学徒

6階 子どもたちの戦後

戦前：尋常小学校

戦中：国民学校

終戦直後の国民学校

戦争が始まると軍国主義的な内容に変わりました。

終戦直後には軍国主義的な内容が墨で消されました。

統制下の暮らしで材質が陶製に変わり、代用品となりました。

戦後になると電気アイロンが普及します。

5階 映像・音響室 写真紹介

戦中・戦後の写真(約2万点)やニュース映画(約1,600点)を見ることができます。今回は当時の女性の服装が映し出されている写真を紹介します。



「日本に出現したニュールック」
(昭和23年8月 東京)



「日本の悪天候の時のスタイル」
(昭和23年9月 東京)



「図書館でファッション雑誌に見入る女性たち」
(昭和24年5月 東京)

4階 図書室 図書紹介

昭和館で収蔵している中に「クロニック」という雑誌があります。現在のファッション雑誌で、昭和13年(1938)頃に発刊され、華やかなデザインの洋服イラストが多く紹介されていました。昭和18年(1943)になると英米語は「敵性語」とされ、『東亜服装』と改題されました。翌年発行の56号の表紙には、防空頭巾や消火する女性の服装が描かれるなど、戦時下の実用的な服装雑誌となり、次第にファッション雑誌としての性格は薄れていきました。図書室には戦前から戦後にかけてのファッション雑誌が数種類あります。どうぞご利用ください。



左より「クロニック」第36号 『東亜服装』(クロニック改題)第51号 『東亜服装』第56号
(昭和16年3月発行) (昭和18年5月発行) (昭和19年3月発行)

次回特別企画展予告

「生誕100周年・没後30周年記念 中原淳一の生きた戦中・戦後 ～少女像にこめた夢と憧れ～」

会期：平成25年3月16日(土)～5月12日(日)
企画協力・監修 株式会社ひまわりや
会場：昭和館3階特別企画展会場

中原淳一は昭和を代表する画家であり、ファッションデザイナーです。戦中はそのイラストで慰問絵はがきが多く製作されましたが、やがてその西洋的な画風が軍部からいらまれ、活動ができなくなっていきました。昭和21年(1946)8月に『ソレイユ』(後に『それいゆ』)を創刊。創意と工夫により生活を豊かにする方法を提唱して、世の女性達に夢と希望をあたえ、復興の原動力になりました。これまであまり紹介されることがありませんでした戦中の活動にもスポットをあて、その業績を紹介します。



©JUNICHI NAKAHARA / ひまわりや
ポスター「レートジュニアクリーム」(昭和28年頃)
子ども用化粧品のポスター。このクリームのパッケージデザインも中原淳一が手がけた。

クイズ これなあに?

* 第18号の答えは「懐中電灯」です。



ヒント

- ① 家の外で使います。
- ② 水を入れて使います。
- ③ トイレの近くにつりさげてあったものです。